

— 昨年のチャレンジ 30S に合格し、昨春、採用された 3 人に町長が聞きました。





皆さん、優しく教えて下さるので働きやすいですね。休暇も取りやすいので、仕事のモチベーションも下がることなく働けます。

民間との違いは、常に法律を意識して仕事をすることですね。

役場の中には様々な部署がある事を知り、視野が広がりました。



業務に慣れること、行政の仕組みを理解すること、その上で自分に出来ることは何かを考えてきました。様々な人と関わる中で皆さんがこの町に対し何が出来るのかを常に考え仕事に向き合っていることを強く感じました。専門職としての基本は変わらないと思いますが、役場は件数だけでなく効率的かつ町民の方々に満足していただける取組が必要ではないでしょうか。地域の特性を考慮することも大切だと感じています。



職場の雰囲気良く、課内に限らず、皆さんが適切な指示や指導をしてくださり、良い職場だなあと感じながら、日々仕事をしています。

民間は社会貢献と言う側面もありますが、まずは基本的に利益優先です。

行政職員となり、町民の利益を最優先し、公共性・公益性を鑑みて仕事をする訳ですが、同時に自分の中で長中短期的に見てどのような功罪があるかを落とし込んで、ポリシーを持って仕事をするのが難しくもあり、やりがいがあるところだなと思っています。

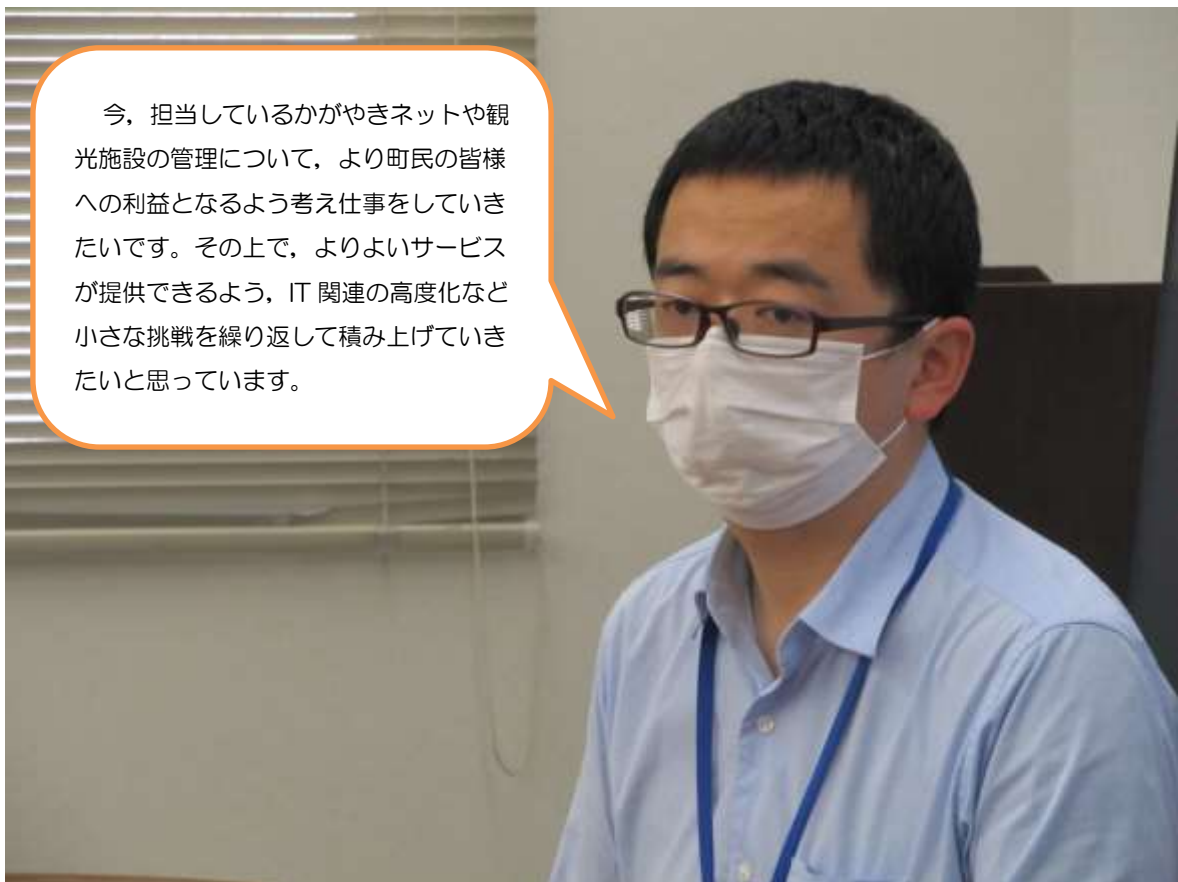


3人とも、2年目とは思えない、しっかりした発言で、とても頼もしく感じました。今後、挑戦したいことは、ありますか？

神石高原町で生まれ育った子ども達が、進学を経て、一人でも多く戻ってきてくれるような町になるよう、微力ですが役に立ちたいです。



新型コロナウイルス対策のため、新しい生活様式が求められていますので、今後、ICTを活用しながら、良いサービスへと繋げていけたらと思っています。



今、担当しているかがやきネットや観光施設の管理について、より市民の皆様への利益となるよう考え仕事をしていきたいです。その上で、よりよいサービスが提供できるよう、IT関連の高度化など小さな挑戦を繰り返して積み上げていきたいと思っています。



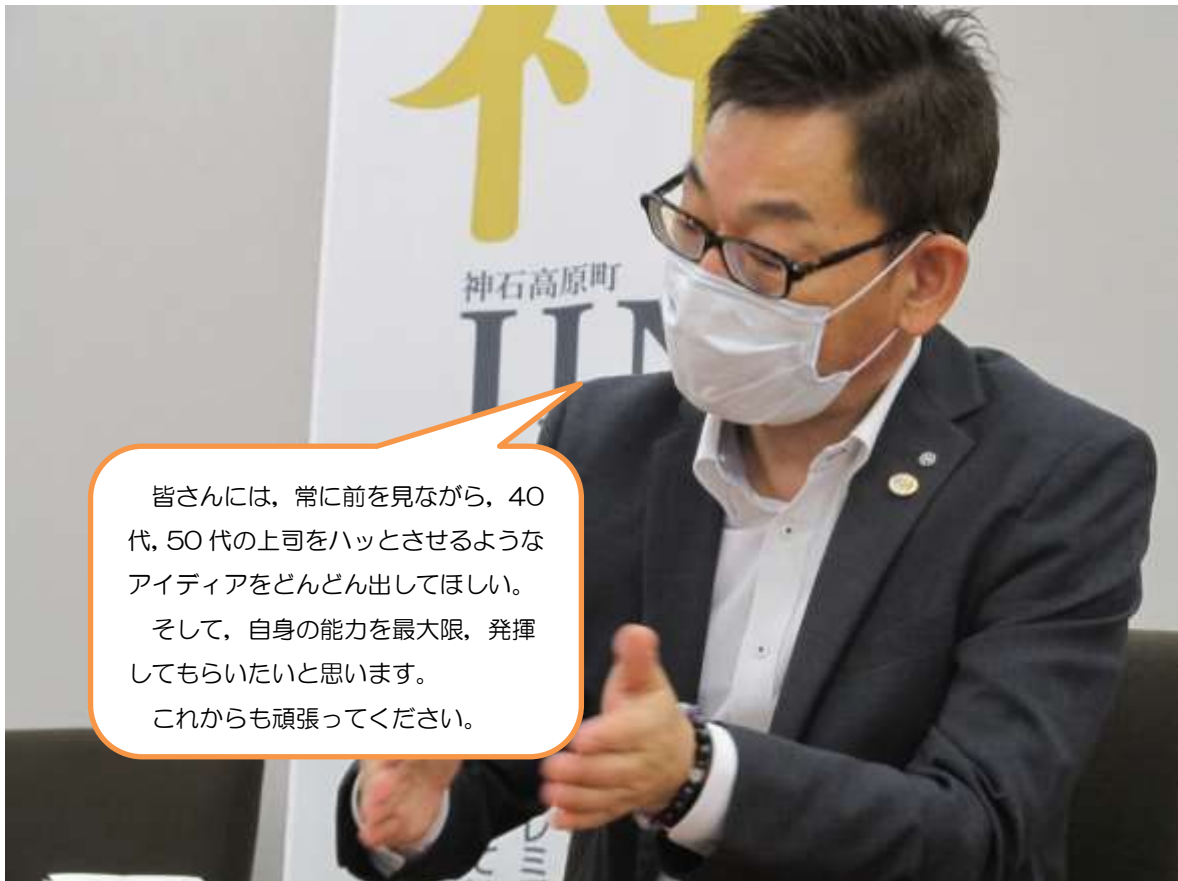
学科試験が無く、主に自己PR  
で選考されるチャレンジ 30 に  
ついて、どう思いますか？



民間でのノウハウを持った人には、採用の可能性が高く、受験しやすい試験です。反面、合否の判断が難しい試験だとも思います。

働きながら、子育てしながら受験できる点が良いですね。新しい環境に挑戦することは勇気がいりますが、30代だからこそできる挑戦でもあると思います。

学科試験は働きながらでは対策に十分な時間を確保するのが難しい。自己PRに重きをおくことで、経験や強みを自己分析できて仕事へのモチベーションに繋がりました。





30代のみなさん!  
チャレンジ30 'S'への挑戦をお待ちしています。